

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2007・7



まちの人



札幌西地区保護司会会長
八軒中央連合町内会副会長
日の出町内会会長

はやし みちのり

林 阡徳さん(68)

保護司は、無給・非常勤の国家公務員として法務大臣より委嘱され、保護観察官と協力して更生保護の仕事に従事します。具体的には、保護観察を受けている人に家に来てもらったり、訪問しながら生活状況を調査し、決められた約束事を守るように指導や助言を行います。また、本人が刑務所などから社会復帰したときにスムーズに社会生活ができるよう、帰宅先の環境の調整や相談も行います。

会社員時代に保護司になつてから十五年になる林さん。「長年続けていられるのは、家族の協力と理解があったから」と言います。女性の対象者の悩みを夫人が聞くこともあるそうです。林さんが保護観察中の人に対して特に力を入れてるのは、「就職させ、仕事を続けさせること」。立ち直るには収入と社会的な責任が不可欠と言います。そのため、面接日以外にもハローワークに付き添ったり、自動車を使う仕事の就職へつなげるため、同乗してペーパードライバーの人の練習に付き合うこともあります。



■毎年7月が強調月間の「社会を明るくする運動」の様子。右から3人目が林さん。

犯罪や非行の無い明るい西区を目指して

保護司の喜びは何より担当している対象者が更生してくれること。「過去に担当した人から道端であいさつされると、元気で頑張っていることが分かって、うれしい」と言います。「最終的に立ち直るには、地域社会に受け入れてもらうことで成り立つので、地域の人の理解と協力が欠かせない」と林さんは話します。現在西区の保護司は六十四人(定数未満)で、保護司の仕事内容や時間的な余裕がないという理由から成り手が不足しているそうです。保護司会では、更生保護への理解を求めるため、「社会を明るくする運動」の一環として町内のお祭りなどでティッシュ配りやごみ拾いをしてPRにも努めています。

保護司の仕事に加えて、町内会長や通学路を見守るボランティアなどしているため、「会社勤めをしていたときよりずっと忙しい」と笑う林さん。「引き受けた以上は最後までやる」をモットーに「これから何人の人を担当するか分からないけれど、一人でも多くの人が立ち直ってくれますように頑張りたい」と話していました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄へ)。